

子どもたちのために 地域でできること

子どもが学び・育つ場所は学校だけなのでしょうか？

学校の中に自分の居場所が見つからない子どもたちは、どこで学び、育つことができるのでしょうか。

川崎市の「子ども権利条例」の制定に携わり、「子ども夢パーク」の運営をされている

西野博之氏より、「日本の子どもたちは今」と題して、苦しんでいる子どもたちの、子育てのあり方を考えた地域社会活動について講演をいただきます。地域の1人の大人、1人の保護者として、今の子どもたちに大人たちは何ができるのか、皆さまと一緒に考えていきたいと思います。

【参加費／無料】

2022 / 10月22日(土) 13:30~15:30

Zoomウェビナー



基調講演

西野 博之氏

認定NPO法人
フリースペースたまりば理事長

日本の子どもたちはいま

私たち大人に求められることは、子どもを見守る「肯定的なまなざし」と子どもを信じ、好奇心の芽を摘まないことです。川崎の地から全国のいたるところへ「だいじょうぶの種」をまいていきます。



話題提供

前川 喜平氏

現代教育行政研究会代表

こどもを育てる力は地域にこそある

夜間中学や子ども食堂など、多方面にわたり弱者に寄り添った地域社会での子育て、社会づくりについてお話したいと思います。



ディスカッション

コーディネーター

辻本 雅史氏 中部大学フェロー

〈お問い合わせ〉

公益財団法人 前川財団
headoffice@mayekawafoundation.org

〈お申込方法〉

参加申込はWebにて受付いたします。下記のURLまたはQRコードよりお申込ください。

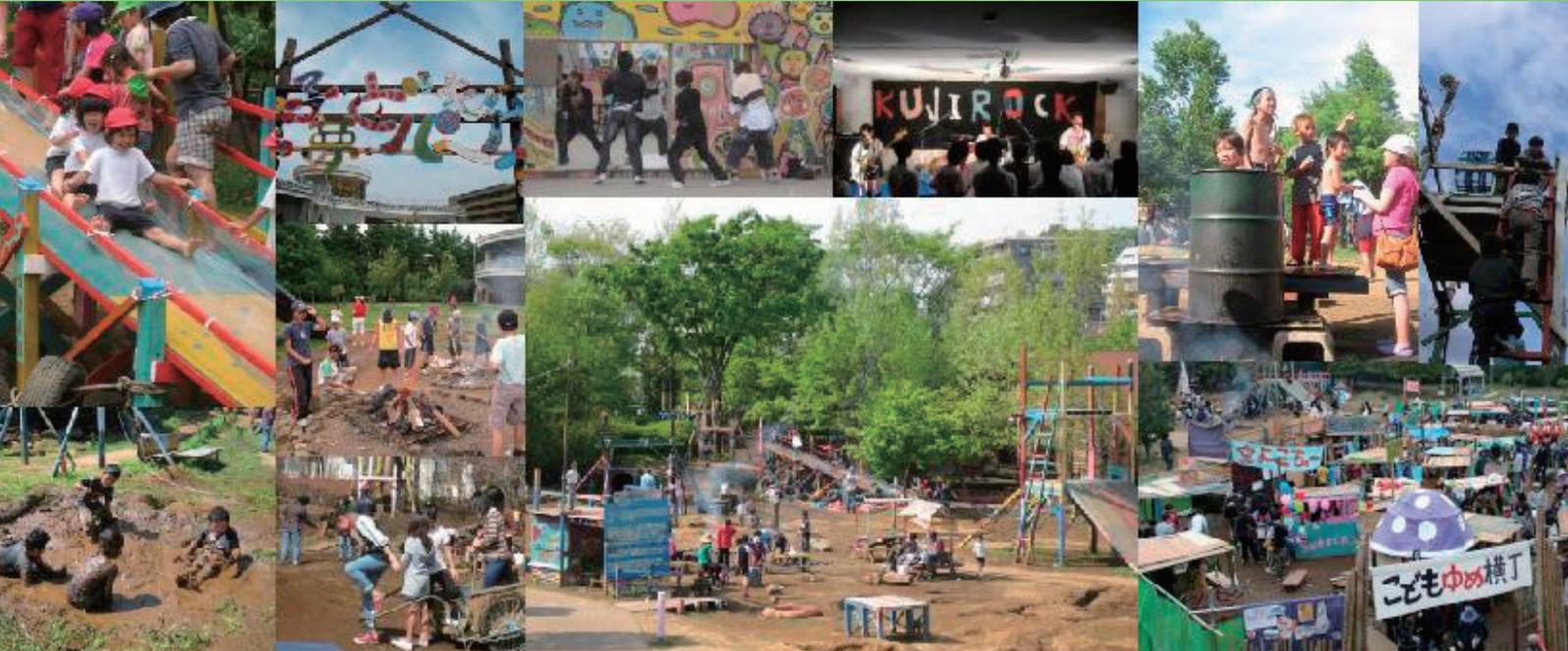
※申込締切／2022年10月20日まで

https://www.mayekawafoundation.org/seminar/seminar_20221022.html



公益財団法人 前川財団セミナー

子どもたちのために地域でできること



西野 博之氏

認定NPO法人フリースペースたまりば理事長、神奈川大学非常勤講師、精神保健福祉士



川崎市子ども夢パーク・フリースペースえん他、各事業総合アドバイザー。1986年より不登校児童・生徒や高校中退した若者の居場所づくりにかかわる。1991年、川崎市高津区にフリースペースたまりばを開設。不登校児童・生徒やひきこもり傾向にある若者たち、さまざまな障がいのあるひとたちとともに地域で育ちあう場を続けている。2003年7月にオープンした川崎市子ども夢パーク内に、川崎市の委託により公設民営の不登校児童・生徒の居場所「フリースペースえん」を開設、その代表を務め、2006年4月より川崎市子ども夢パークの所長に就任。2021年3月までの15年間所長を務めた。

前川 喜平氏

現代教育行政研究会代表、日本大学文理学部非常勤講師



東京大学法学部卒業後、文部省に入省。宮城県教育委員会行政課長、ユネスコ常駐代表部一等書記官、文部大臣秘書官、大臣官房長、初等中等教育局長などを経て2016年文部科学事務次官。2017年退官。現在、福島市と厚木市の自主夜間中学でスタッフを務める。

辻本 雅史氏

中部大学フェロー、京都大学名誉教授



京都大学大学院教育学研究科博士課程退学。博士(文学)。専門は日本教育史、思想史。京都大学教授、台湾大学教授などを経て現職。主な著書に『「学び」の復権：模倣と習熟』（岩波現代文庫）、『江戸の学びと思想家たち』（岩波書店）、『思想と教育のメディア史—近世日本の知の伝達』（ペリカン社）、『教育を「江戸」から考える—学び・身体・メディア』（日本放送出版協会）、『近世教育思想史の研究：日本における「公教育」思想の源流』（思文閣出版）ほか多数。